

## 学級活動で地図活用 3年 絵地図づくりを取り入れた学習 —1年かけてつくる絵地図—

神奈川県小学校教諭

3年生のはじめに「まちたんけん」をしながら地域の特徴を学習することと思います。「まちたんけん」の観察で得たものをもとに地域の特徴を読みとっていくために絵地図づくりを取り入れて学習していきます。

その後も地域の生産や販売について学習を進めていくので、それらの学習の際にも活用し学習成果を付け加えて情報を増やしていくと、自分たちの地域の地理的、社会的特色がわかりやすくなり、地域を語り、話し合いをするよい資料になります。

### 1：地図の特徴って？

はじめにA4の紙を1枚渡して自分の家から学校までの道案内の地図を描いてもらいます。描き終わったあと、みんなの地図を発表します。

すると、「同じ方向から来るのに道の向きが逆だよ」「僕のうちのほうが近いのに道が長いぞ」や「道が一本しかない」「どこで曲がればいいのかわからない」など、いろいろな感想が出てきます。このようなつぶやきから「四方位」「地図の向き」「縮尺」「目印になるもの（施設や畑など）」「道の太さ」など地図の特徴について学習を進めていきます。

### 2：「まちたんけん」のポイントは視点づくり

実際にたんけんに行く前に見学の見点をつくり共有します。見点は見学するコースの特徴に合わせて「地形」「土地利用」「公共施設」「交通のようす」「古くから残る建物」などからつ

くります。すでに知っている町のようにすから見学で確かめることを話し合っ決めて決めます。

「○○コースは道が広くて車がたくさん通っているよ」⇒ほかのコースの道はどんなようすかな。  
「○○コースはお寺や神社などがあって古い感じがするよ」⇒他のコースの建物はどうか。

そのコースの特徴的なようすの観察とともに、他のコースと比較できるように視点を立てて「まちたんけん」を行います。

たんけんの際には「たんけんマップ」（裏面参照）を用意し、視点に沿った観察の手助けをします。マップにはあらかじめそのコースの特徴がよく表れている場所をポイントにしておき、自分の視点が書けるスペースも用意しておきます。

### 3：わかったこと・学習したことを 地図に表そう

#### ・白地図の準備

もともになる地図は指導教員が用意します。これからの学習でどう使うかによって、模造紙2枚の大きさにするか、4枚の大きさにするかなどを決めます。直接さまざまな情報を書きこむなら大きなもの、単元ごとに透明なシートを地図にかけて、学習したことをつけていくなれば小さな地図のほうが取り扱いやすいです。

また、みんなで作る大きな地図のほかに、各自にB4サイズの同じ白地図を渡しておき、たんけんをしながら自分なりの絵地図をつくり、クラスの絵地図づくりに生かしていきます。

#### ・土地利用の表し方

住宅地や商店街、田畑、森林など土地利用は家やお店、木の形などの切り抜きマークを貼る意見が出ます。しかし、数が多かったり、面積が広がったりするため、色で処理しようと話し合いは進みます。とくに住宅が多いところは○色、商店街は△色などと決め、地図上の場所を確認しながらぬっていきます。

#### ・交通

鉄道、バス道路など学区を越えて他地域とながっているものは区域にこだわらず地図につなげていきます。学習の発展で地図からはみ出して線路が伸び、隣の駅名が表記されたりします。場所による交通量の違いや車両の種類などたんけん気づいたことを盛り込んでいきます。

#### ・公共施設や古くから残る建造物

学校や公園、郵便局、スーパーなど地域の公共施設については地図記号を使って表します。この段階の地図記号についてはみんなで相談して自分たちの記号をつくると思います。この後、市全体に学習が広がった時に自分たちの記号では、みんなに伝わらないことから正式な地図記号の学習に移ります。

記号で位置を記すだけでなく、「しょうかいカード」を使いその施設や建造物を絵や写真で表したり、簡単な説明を加えたりし、地図の余白につけていきます。

公園などは遊具の種類、広さ、遊びの種類など視点を決めてそれぞれの公園をまとめると比較がしやすくなり、まちの特徴を考えたときの材料になります。

### 4：1年かけてつくる絵地図

3年の第1単元で作成したこの絵地図は、年間の学習を通して利用、加筆していきます。この単元ですべてを盛りこんで作りあげようとしても、調べが足りなかったり、行くことができなかったりする場所があるからです。

無理にすべてを埋めようとせず、これから学習する地域の生産や販売、文化財や年中行事などの学習の導入で使用したり、学習のまとめを添付したりしていきます。

こうすることで、1年をかけてさまざまな情報が詰まった自分たちの地域の地図をつくることができます。

#### 《作品例》



キャッチフレーズをつけることで、自分たちのまちの特徴を表している。

自分たちでつくった地図記号や土地利用のようすの色分けの説明

見学や学習でわかったことのまとめ

○学習の流れ（参考例）

丸数字は、配当時間を示します。

①学校から家までの地図を描いてみよう

- ・方角ごとに異なるまちのようす。
- ・建物があったり、地形の関係があたりして見えない方角もある。

②学校の屋上から自分たちのまちを見て確かめよう

↓

見えないところへ行って確かめてきたいね。

- ・同じ方向から来るのに道が逆だぞ？
- ・うちのほうが近いのに地図が長い！
- ・ある一定の決まりをもとに地図を描かないとわかりにくい。
- ・地図には方位や目印などの要素が必要。

まちたんけんに行こう

まちたんけん

③東コースのたんけんではどんなところを見てくればいいのか？

④⑤東コースをたんけんしよう

⑥東コースをたんけんしてわかったことをまとめよう

⑦西コースのたんけんではどんなところを見てくればいいのか？

⑧⑨西コースをたんけんしよう

⑩西コースをたんけんしてわかったことをまとめよう

コースの設定はまちの特徴やこれからの学習に合わせて指導教員が設定する。

私達のまちはどんなまち？

絵地図づくり

⑪わかったことをもとにミニ絵地図やポイントしょうかいカードをつくろう。

自分の絵地図づくりや紹介したい施設や建造物のカードを絵や写真などを取り入れながらつくる。

⑫⑬⑭相談しながら絵地図をつくろう。

- ・地図記号を決めて記入しよう。
- ・家や店が多いところは、色分けしてぬろう。

まちをまとめよう

⑮絵地図を見て気づいたことを話し合おう。（例）

- ・どうして場所によって通る車の数や種類に違いがあるのだろう。
- ・なぜ東側の公園は遊具があるのに西側の公園には遊具がなく広場なのだろう。
- ・東側の道はまっすぐで広いのになぜ西側の道は細く曲がっているのだろう。

⑯私たちのまちのキャッチフレーズをつくろう。

「地形」「土地利用」「公共施設」「交通のようす」「古くから残る建物」などの視点を入れながら特徴をまとめます。

○児童作業用ワークシート（参考例）

\_\_\_\_\_ コースたんけんマップ

3年 組 番

名前

①

②

ここにたんけんコースの地図をはろう

③

④

たんけんのときに「めじるし」になる場所をきめて、地図に番号をふろう。「めじるし」の場所の名前と、そこで知りたいと思うことをまとめておこう。

まち発見！ しょうがいカード

その場所の絵や写真をはろう

「めじるし」の名前

調べたこと